

# ニュースリリース

(株)ウィザードシステム研究所

〒134-0084

東京都江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル5F

TEL : 03-5667-7281 FAX : 03-5667-7282

URL : <http://www.wizard-system.com/>

## マスター統合エディタ、オーダーエディタ搭載により 操作性が大幅アップ!!

### PlanWizard Ver21.0 発売開始

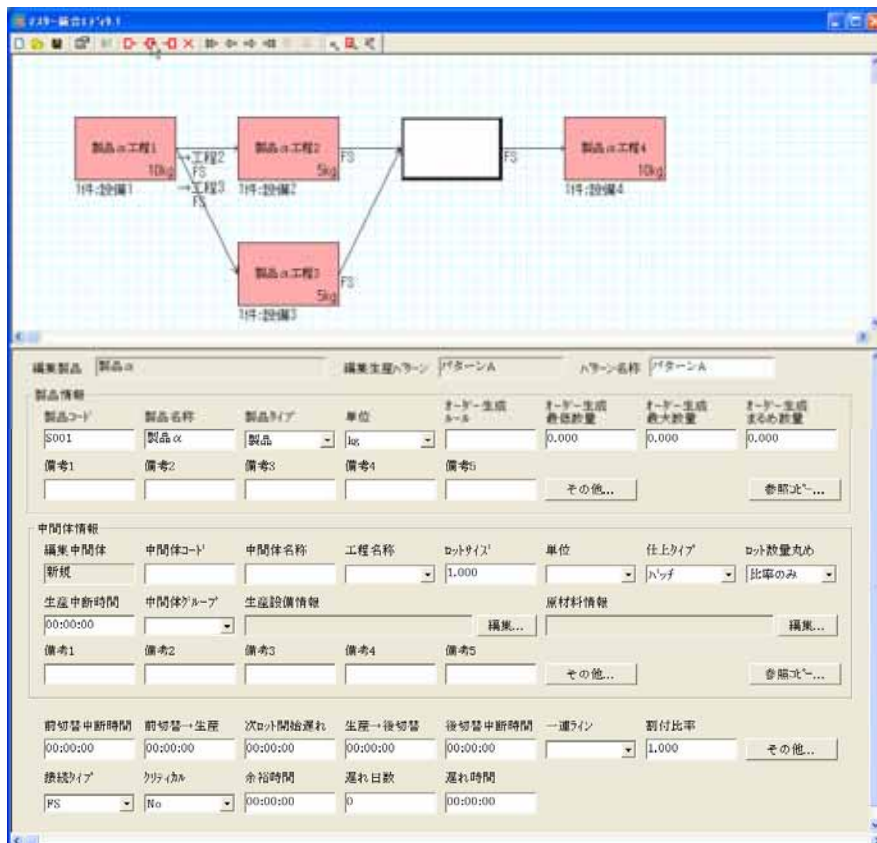
弊社では、ご好評頂いております PlanWizard シリーズの Ver21.0 の発売を開始致しました。今回のバージョンアップでは、PlanWizard のマスターやオーダーを簡単に編集できる各種エディタの搭載や、任意の設備群やリソース群をグループ化する機能等、122 項目の様々な新機能が追加及び、改良されております。製品構成などの詳しいお問い合わせは、弊社営業部まで、どうぞよろしくお願い致します。

#### <APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard Ver21.0 の主な追加機能についてのご紹介>

詳細履歴は [こちら](#) からご覧頂けます。

#### 1. マスター統合エディタ

- 上部のグラフィカル画面と下部の設定フォーム、ツールバーからなる操作性に優れたエディタウィンドウで、製品に関する全てのマスターが簡単に作成・編集ができます。
- 複雑な生産のパターンもグラフィカルにイメージを確認しながら編集が行えます。
- ツールバーからのワンクリック操作で任意の位置へ工程の追加・挿入・削除が行えます。
- 参照コピーコマンドが用意されており、他の製品や他の製品・工程の情報を参照してコピーすることができ、短時間でマスターの作成が可能です。



## 2. オーダーエディタ

- 上部のグラフィカル画面と下部の設定フォーム、ツールバーからなる操作性に優れたエディタウィンドウで、オーダーの生産プロセスの変更を簡単に行えます。
- ツールバーからのワンクリック操作で任意の位置へ工程の追加や削除をすることが可能で、一品ものなど途中で設計変更等により、生産のプロセスが変更される製品の編集に柔軟に対応することが可能です。変更のない工程の情報は、そのまま残ります。
- 新規に追加した工程のマスターの作成は、参照コピーコマンドを使用して他の製品・工程の情報をコピーすることにより、簡単に行うことが可能です。
- 生産のプロセスの変更が予め想定されている場合(検査結果により再処理・再検査を行う場合等)は、事前にそのパターンをマスター統合エディタ等で作成しておくことにより、オーダーエディタを使用せずに、ガントチャートのコマンド操作から一括で変更することが可能です。この場合も変更のない工程の情報はそのまま残ります。



< オーダーエディタ編集前 >



< オーダーエディタ編集後、再スケジュールリングの結果 >



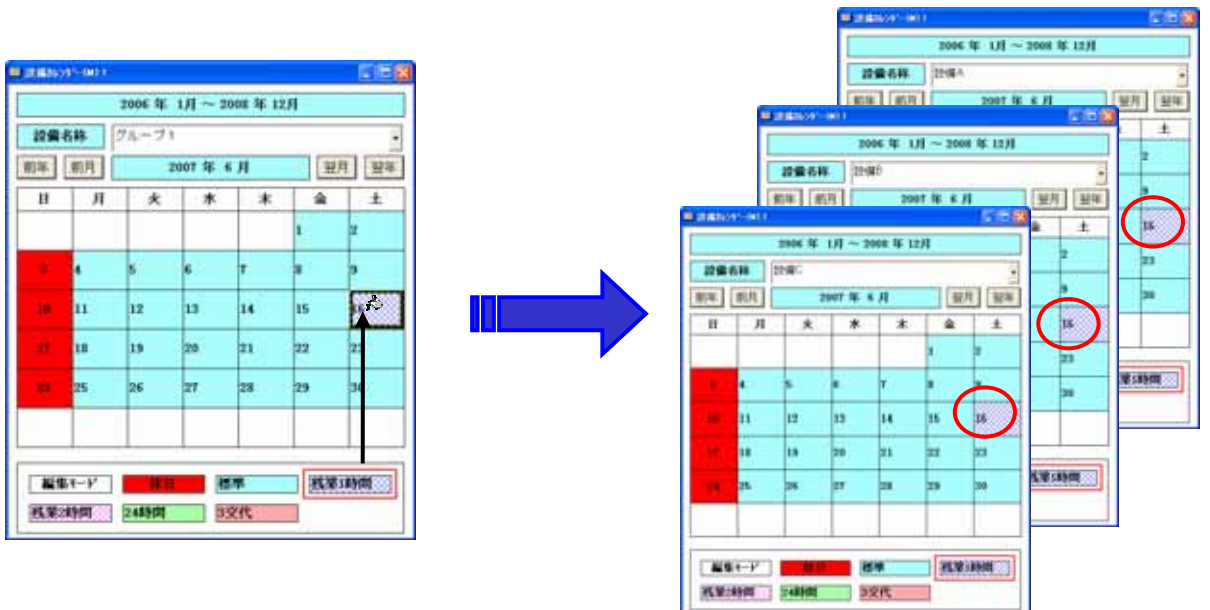
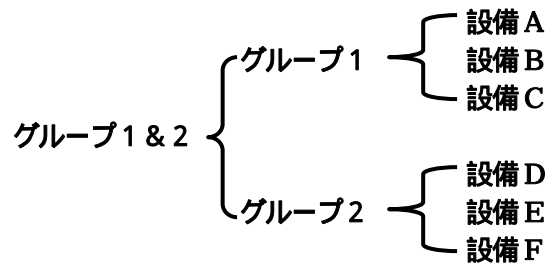
変更の無かった工程の情報は、そのまま残ります。

追加された工程がスケジュールリングされています。

### 3. 設備・リソースグループ化機能

- 任意の設備群や任意のリソース群をグループとして登録・管理することができます。グループの階層は無制限に登録可能です。
- 製品を生産する設備情報としてグループを設定すると、グループに登録されている全ての設備群を一括で登録したことに同一となり、マスターメンテナンスを容易に行うことができます。
- グループのカレンダーを変更すると、グループに所属している全てのメンバーのカレンダーを一括で変更することが可能です。

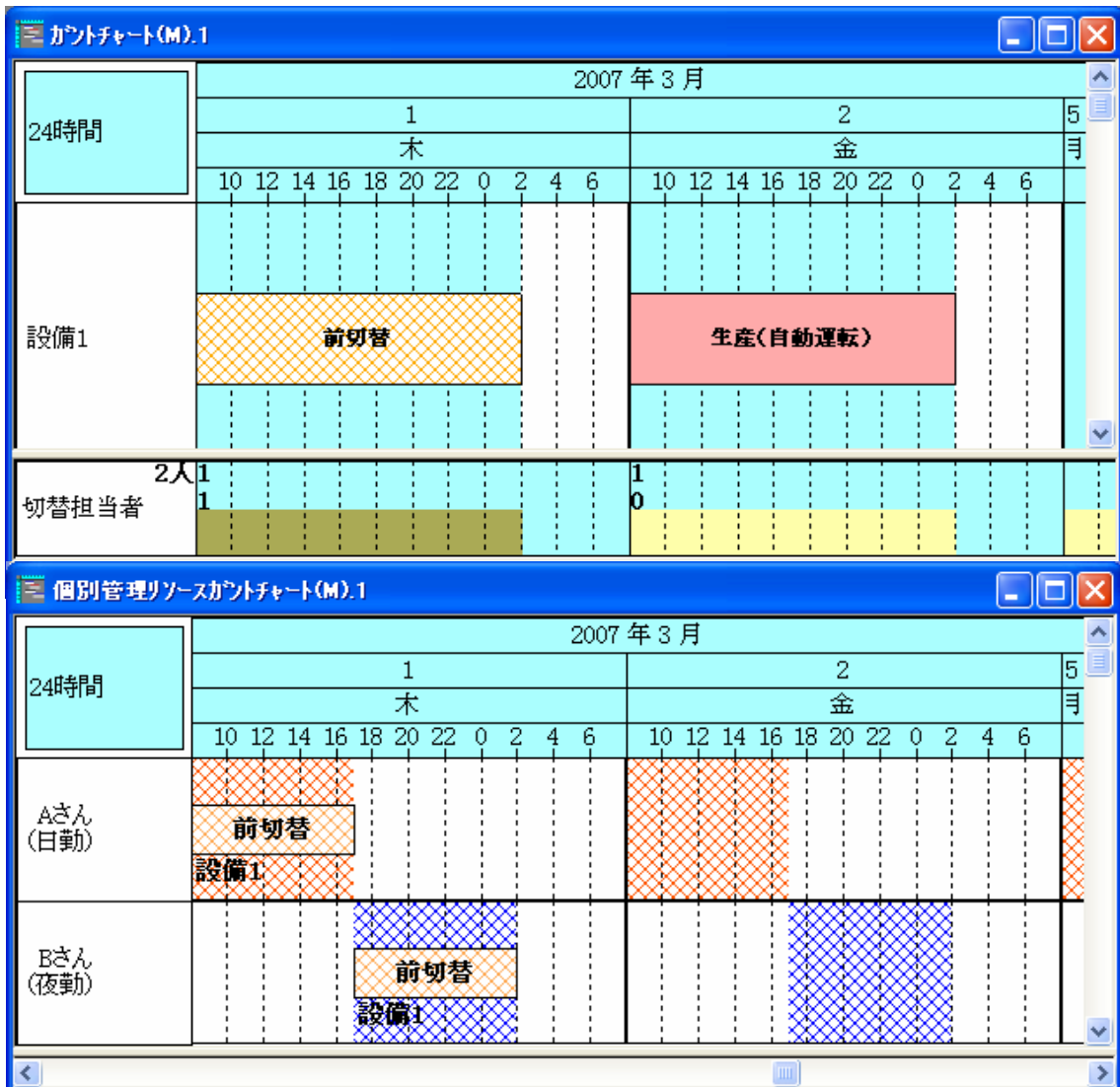
#### ・設備のグループ階層構造例



グループのカレンダーを変更すると、所属している全てのメンバーのカレンダーが一括で変更されます。

#### 4. 切替要員時間帯毎配置機能

- 現状は1つの切替作業は必ず同じ要員を割付ていましたが、本機能を使用すると、1つの切替作業がシフトを跨ぐ場合等で、シフトの前後で別々の要員を割付けることができます。  
(尚、生産については、特許出願中の機能により Ver18.0 より対応可能となっております。)



#### 5. その他

新機能や、従来の機能がより使いやすく、追加・改良(上記含め、122項目)されています。

- 従来は、製品・工程毎に必ず設定が必要であった生産設備の情報を工程で一括設定できるようになりました。勿論、製品・工程毎の設定との併用も可能です。
- ディスパッチングルールへ優先順位項目を追加し、より精度の高いスケジューリング結果が得られるようになりました。
- スケジューリングの割付優先順位の設定で、きめ細やかな設定が簡単にできるようになりました。
- 前後切替で特殊な条件を指定する際の指定では、従来は前後の組合せを一組ごとに指定していましたが、ワイルドカード「\* . \*」が使用できるようになりました。前後切替でも、製品により固定の切替がある場合に便利です。